

会議録

会議の名称	西東京市立学校統合協議会（第4回会議）
開催日時	平成26年8月20日（水曜日） 午後2時から午後3時20分まで
開催場所	防災センター6階 講座室2
出席者	委員：羽豆成二、勝又俊江、高松恵子、門馬晶子、菅家淳子、有澤多津子、高柳徹、中西静江、堀口悦子、真鍋五十鈴、幸内悦夫、中村千佳子、屋宮茂穂 事務局：坂本眞実（教育部特命担当部長）、早川礼成（教育企画課長）、岡本範子（教育企画課長補佐(企画調整係)）、児山晃男（教育部副主幹(教育企画課企画調整係)）福井光（教育企画課企画調整係主事）
傍聴者	2人
議題	1 開会 2 会議録の確認 3 校名について 4 歴史の保存について 5 その他 6 閉会
会議資料の名称	資料1 西東京市立学校統合協議会（第3回会議）会議録（案） 資料2 西東京市立学校統合協議会第4回会議ワークシート 集計結果 資料3 西東京市立学校統合協議会第5回会議ワークシート
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>議題1 開会</p> <p>議題2 会議録の確認</p> <p>○座長： 前回第3回の会議録(案)について事前に送付しているが、訂正すべき箇所などがあれば発言願いたい。</p> <p>○委員： (異議なし)</p> <p>○座長： 何もないようなので正式な会議録とする。</p> <p>議題3 校名について</p> <p>事務局：</p>	

資料2に基づき説明。

○座長：

初めて見る資料になるので、ボリュームのある2ページ目以降について、読み上げて皆で理解を深めたいと思う。

○委員：

(資料2の2ページ目以降読み上げ)

○座長：

何か御意見等あるか。

委員：

回答理由はどれも納得する。児童は交流事業を通してとても良い雰囲気が生まれていると感じた。また、互いに自分達の学校の良さや伝統等を再認識していて、相手の学校の良いところを学んでいこうという姿勢も感じる。子供達レベルで本当に校名変更を望んでいるのかとも思う。「住吉小」へ行くという意識が芽生えていると感じる。校名はそのままが良いと思う。地域としてもそのままが自然で、収まりが良いと考える。

○委員：

私は「全く新しい校名を検討する」と考えていたが、資料を読んで皆さんの回答を知り、指定校である「住吉小学校」を校名とするに考えを変えた。

○委員：

校名変更にかかる費用を教えて欲しい。

○事務局：

現在、確認しているところで具体的な金額は不明である。ただ、学校内では校名板、演台、どん帳、垂れ幕、校旗、校章など、他にも学校外に点在している地図や道路の看板、各種印刷物などを変える必要があり、金額についてはかなりの額になることが想定される。

委員：

単学級化と財源が統廃合のきっかけなので、費用がかかるならばそれと逆行するし、それが必要なのかとも考えなければならぬと思う。

○委員：

色々な捉え方があると感じた。名前は指定校のままで良いと感じた。

○委員：

住吉小の名前がなくなるのであれば、実質的に泉小と同様に廃校の扱いと変わらないという理由があったが、私も同感である。来年度に、統合を進めるとともに閉校を進めることになり、負担もあるのではないかと。費用もかさんでくると思う。私は、校名は住

吉小のままで良いと考えている。

○委員：

泉小の伝統を残して、例えば住吉小に泉小を記念するものを残すなどして対応していければと思う。

○委員：

前回、泉小の良いところをたくさん聞いた。それをどんどん取り入れていけば校名は変更しなくても良いのではないかと考える。校名変更に費用がかかるのであれば、指定校以外に行く児童にも、既に行っているとは思いますが、対処をしていただければと思う。

○委員：

皆さんの意見を拝見し、費用面など思い付かなかったことがあった。

○委員：

私も費用面について考え付かなかった。費用的にも時間的にも厳しいかなと感じた。その分、統合後の子供達に使って欲しいと思った。

○委員：

費用は、未来ある子供達に投資していくべきであると思う。校名変更には費用の面だけではなく、大変な労力もかかるのではないかと。また、他の委員から、子供達が校名を変えることを望んでいるのだろうかという指摘があったが、確かに子供達の中に学校名が変わって違う学校に行くというイメージはないと感じた。形としてはっきり残る物が欲しいという意見もあったが、物が残るということはすごく大事である気がしている。校帽が残ると良いと考えている。校帽は、熱中症の対策や所属意識を高めるのに良いと思う。

○委員：

校名というよりも良き伝統・校風、良いところをいかに住吉小に引き継いでいくかに力を注いでいきたいと思っている。その方が子供達も泉小に通っていて良かったなど思えるのではないかと考える。

委員：

今までの話合いの中で、どのような学校を作ったら良いか御意見をいただいていた。そういったところも残していくことが、子供達のために還元できることだと思う。費用を考える必要はあるが、私も校帽を引き継ぐことには賛成である。

○座長：

全員の意見を伺ったが、現時点で校名については住吉小学校でということによろしいか。

○委員：

(異議なし)

○座長：

それでは、そのように確認させていただく。また、これからどんな学校にするのか、子供の目線に立って良い学校を作っていこうという意見があった。校帽については、予算も関係することと思うが是非実現していきたいという声が多かった。また、その他の意見についても、大切にしながら望ましい学校を作っていきたいと思う。今までも何度か話題になった校帽については、どうお考えか。

○委員：

校帽の扱いはとても良い。共通の物を持って大切にすることというのは、とても良いと思うし、持たせることのマイナス面はない。可能ならば引き継いでいただきたい。

○委員：

校帽のサイズは、児童が成長して途中で買い替えるなどのことはないのか。また、間違っていて他人の校帽を持ち帰るようなことはあるのか。

○委員：

一年生から使っているし、そのようなことはない。

○委員：

ゴムが伸びている校帽を使っている子を見かけることはあるが、扱いは良いと思う。

○委員：

ゴムを取り替えることはあるが、とても丈夫で、上の子が使った物を下の子が使うなどできる。

○委員：

校帽は登校したらどこにかけて置くのか。フックにかけたりするならばその予算も必要になると考えてしまった。

○委員：

ランドセルの中に入れていたりしている。

○委員：

水色の帽子を被っている子を見かけると、泉小の児童だと分かるインパクトはある。とても有効であると思う。

○委員：

高学年女子が髪型を気にしたりすることはないのか。

○委員：

髪が気になるから、被りたくないというようなことを聞いたことはない。

- 座長：
校帽を作る場合の、予算の配慮はどうか。
- 事務局：
検討していきたい。
- 座長：
作っていただければと思う。校帽のデザインとかはいかがか。
- 委員：
色も形もそのままが良いのではないか。変える必要はないと思う。
- 委員：
帽子についている校章は必要があるかもしれない。
- 委員：
話は変わるが、住吉小学校の保護者は、PTAについてどのように考えているのか。
- 委員：
PTAは良いところも面倒なところもあると思う。立ち上げる場合は、現在は両校ともにPTAが無いので、経験がほとんどない。継続性についても考えなければならないと思う。
- 座長：
校帽やPTAの話もあったが、校名は住吉小学校とする統合協議会の方向性がはっきりしたと思う。校歌・校章についてだが、校名とともに引き継いでいくのが一般的だと思うが、いかがか。
- 委員：
(異議なし)
- 座長：
校帽は泉小のものを引き継ぐ、校名・校歌・校章は住吉小のものを引き継ぐということではよろしいか。
- 委員：
(異議なし)
- 座長：
では、そのようにしていきたいと考える。

議題4 歴史の保存について

- 事務局：

資料3に基づき説明。

○委員：

泉小学校で検討しているメモリアルルームに残してもらいたい物の例をいくつかあげたい。教育目標のパネル、校章、卒業アルバム、校旗、校歌パネルなどである。検討いただければと思う。

○委員：

メモリアルルームはどこに作るのか。

事務局：

今後、両学校長と調整していきたい。部屋の中に設置するものについては、基本的に住吉小学校の中で考えている。

議題5 その他

事務局：

次回会議は10月2日（木曜日）に開催する。時間・場所は調整中である。

○委員：

日本ではかつて無いような自然災害が起こっている。住吉小学校を改修する際には、是非畳の部屋を作っていただきたいと思う。高齢者や幼児が避難する際には必要なものとする。日本の伝統文化を取り入れた学校の教育と地域の避難所の観点から是非お願いしたい。

閉会